

保証

- 保証期間は、お買い上げの日から1ヶ月とします。
  - 万一、故障の場合は、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
  - 無償修理は、当社にて現品を確認し、保証期間中、且つ商品の不良であれば対応いたします。
  - 下記の場合は、保証期間中でもお客様の責任（有償修理、有償点検）となります。
    - ・取扱説明書の注意事項を守らなかったことによる故障および損傷
    - ・お客様の取扱上の不注意による故障および損傷
    - ・お客様の使用環境や設置場所による故障および損傷
    - ・指定外の動力源（電圧、周波数、燃料、気体など）の使用、または天災、地震、地震、水害、塩害、落雷、公害など）による故障および損傷
    - ・消耗や経年劣化による故障
    - ・補正部品以外の部品が使用されている場合
    - ・当社指定の修理店以外による修理がされている場合
    - ・お客様により、商品の改造・分解がなされている場合
  - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- This warranty is valid only in Japan.
- 商品の不具合による生産補償、営業補償等の二次的損失の補償は一切いたしません。
  - 販売店が発行する証明書（販売証明書・レシートなど指定のもの）を本保証書と共に大切に保管し、修理の際は販売店と一緒に持ち帰ってください。

購入年月日：

◆修理サービスについて

- 修理を依頼される時は
- 修理はお買い上げの販売店又は当社営業所にご相談ください。
  - この時にお買い上げの商品の形式名およびお買い上げの時期をお知らせください。
  - 修理品をお渡しの際は、本書も合わせてご持参ください。販売店、販売時期の確認を行ないます。
  - 保障期間内でも、商品に不具合なき場合は、有償にてご対応させていただきます。
  - 保証期間経過の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客様の要望により有償で修理いたします。
  - 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- その他ご不明な点は当社営業所へお気軽にお問い合わせください。

商品に関するお問い合わせ・修理・ご意見・ご希望などございましたら、販売店または当社までご連絡ください。

アネスト岩田株式会社

〒223-8501 神奈川県横浜市港北区新吉田町3176 TEL045-591-1108 FAX045-594-1931

AIREX

- ご使用前に、『取扱説明書』を必ずお読みください。誤ったご使用は、商品の故障や事故を引き起こす原因となります。お客様が商品をご使用された時点で、本書の内容を全てご理解いただいたことと判断させていただきます。
- 本商品は業務用ではありません。業務用としてご使用になられた場合や過剰な条件でご使用になられた場合に発生した故障は保証しません。
- 警告・注意の表示を無視して使用した場合の損害については、当社は一切責任を負いませんので、ご了承願います。また、本商品の不具合による生産補償・営業補償等の二次的損失の補償は一切いたしません。
- 本書が保証書を兼ねておりますので、裏表紙に購入年月日を記入してください。販売店発行の販売証明書を本書に貼り保管してください。
- お読みになった後は、販売店が発行する証明書（販売証明書・レシートなど）と共に本書を手近な所に保管し、ご利用ください。

■商品の特長

作業内容により別々に使い分けられたエアナーエアーステプラを1台にした商品です。本書で仕上げ釘（フィニッシュネイル）とスチール釘を打つことができます。

■開梱時の確認

この商品を開梱する際は、輸送途中に損傷を受けていないか注意して調べてください。損傷がある場合は運送会社にご連絡ください。

◇ 梱包内容

現品	2 in 1 エアナーエアーステプラ	1台
六角レンチ	(2.5mm)	1本
六角レンチ	(3mm)	1本
六角レンチ	(4mm)	1本
エアーツールオイル		1本
	取扱説明書	1本

■各部の名称

CHX10499

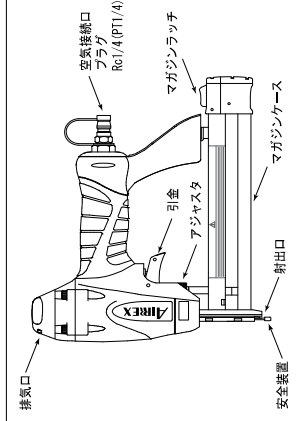


図1 各部名称

2in1 エアナーエアーステプラ

■安全に関する一般的なご案内  
 本商品は圧縮空気を使用します。本書をよく読み、ご理解された上で、ご使用願います。

- ▲危険 警告の内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生ずることが想定されることを示します。
- ▲警告 警告の内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
- ▲注意 注意の内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物の損傷の発生する可能性があることを示します。

▲警告

- 医療、呼吸器、食品、その他人体や動植物の生命に関わる設備や用途には絶対に使用しないでください。
- 死亡や人体、動植物に重大な傷害を与える危険性があります。警告を無視して使用された場合は、弊社はいかなる損失、人体傷害および傷害に対する賠償責任を負いません。
- 子供が触れないようにしてください。思わぬ事故の原因となります。
- 周囲に可燃性液体・ガス等がある場所では使用しないでください。射出時に火花が発生する可能性があります。
- 作業者及び周囲の人も必ず安全メガネや耳栓等の保護具を着用してください。
- 空気が外の気体は使用しないでください。
- 足元が不安定な場所、無理な姿勢では絶対に使用しないでください。落下や転倒事故の原因となり大変危険です。
- コンプレッサのエア（圧縮空気）には、ドレン（コンプレッサオイル、大気中の塵埃、水滴など）が含まれており、ドレンはエアーツールの故障の原因、ドレン飛散を引き起こす原因となりますので、ご使用の用途および要求の品質によって、エアードライヤーやフィルターをご使用ください。
- 本商品をご使用の際は、射出口付近に手や足を近づけないでください。
- 釘の装填時及び作業の中断や終了、メンテナンスの際は、エアーステプラを必ず外してください。
- 本商品の最高圧力は、0.7MPaです。この圧力を超えないようにしてください。この圧力を超えて使用した場合は、破損します。保証できません。
- 木材用です。金属のように硬い材質には使用できません。
- 射出口を人や動物に向けしないでください。
- 向かい合わせの釘打ち作業はしないでください。
- 釘の上に釘を打つ「2度打ち」はしないでください。
- 使用釘は適切な釘をご使用ください。不適切な釘を使用すると釘詰まりを起こします。これは商品の不良ではございませんので、保証いたしません。また、本商品は釘を付属しておりませんので、使用釘の寸法をよくご確認ください。別途お買い求めください。
- 分解・改造は絶対に行わないでください。分解・改造により発生した故障・二次的損失は保証対象外となります。

**■ 運転準備**

**【エアホース】**

**▲ 警告**

- エアホースは、損傷や破損がないようにしてください。ご使用前にエアホースと接続部にエアホース等がないか確認してください。
- エアホースを接続したまま、エアツールを持ち運ばないでください。エアホースを引っ張りエアツールやコンプレッサを移動しないでください。
- エアホースは、熱・鋭角な物に近づけないでください。損傷により破裂する恐れがあります。

内径の小さいエアホースは、圧力降下によりエア工具の能力低下を引き起こす原因となりますので、エアホースの長さは30m以下でご使用ください。ホースの長さと同径の関係は下表を参照してください。

エアホースの長さ	~10m	10~30m
エアホースの内径	φ6mm以上	φ8mm以上

**【使用空気圧力の設定】**

使用空気圧力は、使用釘と対象物の硬さ、お客様が希望する打込み深さにより異なります。**0.4~0.7MPa**の範囲でご使用ください。

**【空気接続口とキャップ】**

空気接続口に樹脂のキャップを取り付けています。このキャップはツール内への異物混入を防ぐ物です。使用しない時はキャップをご使用ください。

**【使用釘】**

本商品に使用する釘は、3ページの表1を参照して、条々に合った物をご使用ください。不適切な釘は、釘詰まりの原因となり、使用できません。尚、この場合の不具合は、保証いたしません。

**【安全装置】**

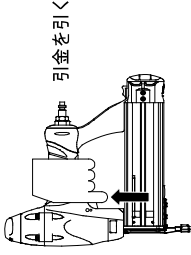
- ご使用前に安全装置が正常に動作することを確認してください。
- 絶対に安全装置を外したり、改造したりしないでください。
- 安全装置を対象物にしっかり押し当てないと釘がでなかつたり、2度打ちになりましたりします。特に天井に向けて作業する場合はご注意ください。

本商品は、誤った射出を防止するための安全装置がごさいます。この安全装置によって、引金を引くだけでは釘が打てません。

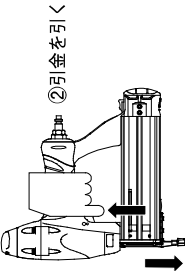
釘打ちを行う場合は、射出口付近にある安全装置をしっかり対象物に押し当てて、引金を引かなければなりません。

尚、安全装置が存在しても完全に駆った射出を防止することはできません。使用者が十分注意して作業するようにお願いいたします。

**× 釘がでない打ち方**



**○ 釘がでる打ち方**



①対象物にしっかり押し当てる

**【給油】**

エアツールへの給油は所有者の責任です。エアツールは正しく給油しないと寿命が短くなり、動きが鈍くなります。給油を怠った場合は、保証いたしません。

**▲ 警告**

- エアツールは作業前後、作業中に給油が必要です。
- エアツールオイルは、空気接続口(エアホース接続部)より給油してください。給油するオイルは、SAE#10相当品、ISO VG#32、タービン油#90を推奨いたします。

**【給油方法】**

- 給油する時は必ずエアホースを外してください。
- エアツールにオイルを給油した後は、排気口よりオイルが排出されます。特に給油直後の運転は、排気口より余分なオイルが排出されます。オイルの飛散を低減したい場合は、タオル等で排気口を覆ってください。排気口を顔に向けてオイルが目や口に入る可能性があります。
- 作業環境は、オイルが飛散しても問題がないようにしてください。

- 空気接続口を上向きにしてください。
- 空気接続口から数滴オイルを入れてください。
- 空気接続口にエアホースを接続し、ウエス等で排気口を軽くふさいでください。
- 不要な木材に射出口を押し付け、引金を引いてください。打込みが開始すると排気口より余分なオイルが排出されます。

※給油時は釘を装填しないでください。  
※ごまめに給油することを心掛けてください。

**【メンテナンス】**

メンテナンス(特に給油)を怠ると工具の寿命に大きく影響します。メンテナンス不良は保証いたしません。日課のメンテナンスをする場合は、必ずエアホースを外してください。

- ご使用前に各部に破損がないか確認してください。
- 使用前後に必ず給油を実施してください。
- 定期的に各部の清掃を実施してください。

**【保管】**

保管の際は、必ずマガジンケースから釘を抜き、給油を行なってください。釘を入れたままにするとと思われる事故の原因となります。また、給油を怠りますと次回使用時に動かないことがあります。エアツールへの給油方法は、2ページの【給油方法】をご参照ください。

**基本仕様**

形式	最高使用空気圧 MPa	使用釘	装填数 本	外形寸法 W×D×H mm	質量 kg
CHX10489	0.7	3ページ参照	100	282×60×235	1.3

**主な故障原因と対策**

故障・原因	原因	対策
釘がでない 釘が詰まる 動作が遅い 打込み力が足りない	1.使用釘が不適切 2.正しく釘が装填されていない 3.射出口(安全装置)を対象物にしっかり押し当てていない 4.使用空気圧が低い、または高い 5.給油不足、これに伴う消耗 6.金属や硬い材質に打ち込んでいる 7.釘詰まり	1,3ページの『使用釘』を参照し、適切な釘をご使用ください。 2,4ページの『釘の装填方法』を参照し、正しく釘を装填してください。 3.射出口(安全装置)を対象物にしっかり押し当てた状態で、引金を引いてください。 4.空気圧を再設定してください。 5,3ページの『給油方法』を参照し、給油を行ってください。給油を行っても改善なき場合は、修理が必要の可能性がありません。 6.本商品は木材用です。硬過ぎる材質には使用できません。 7.付属の六角レンチにて射出口部を分解し、釘を除去してください。お客様にて釘を除去できない場合は、有償にて修理いたします。
排気口付近からの エアホース漏れ	1.使用空気圧が低い 2.ヘッド部のボルトの緩み 3.シール材やガスケットの消耗	1.使用空気圧を調整してください。 2.ボルトの増し締め 3.修理※
引金付近からの エアホース漏れ	1.安全装置の作動 2.シール材の摩耗、異物混入	1.打ち方を確認してください。 2.修理※
本体と射出口からの エアホース漏れ	1.内部消耗	1.修理※
打込み力が強過ぎる	1.空気圧が高い 2.打込み深さが深い	1.空気圧を下げてください。 2.エアジャスターを調整してください。

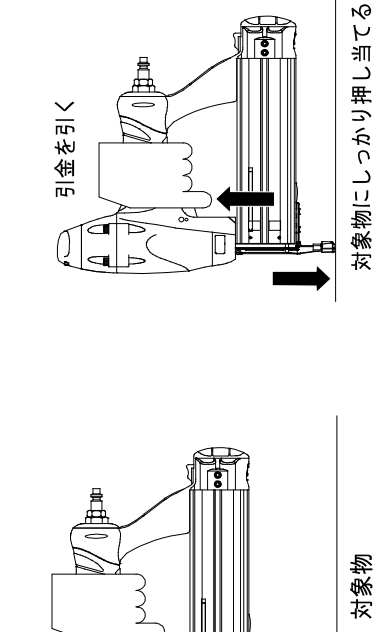
- 弊社へのお問い合わせの多くは、使用釘の未確認や安全装置の未解除となっております。ご使用前に取扱説明書をご確認頂くようお願いいたします。
- 対策欄の※印は、弊社にて修理することが望ましい内容です。また、消耗の度合いにより修理が高額になる場合がございます。

**▲ 警 告**

- 作業前に周囲の安全に十分配慮し、危険がないことを確認してください。
- ※作業場に作業者以外近づけない。特に子供に注意してください。
- ※安定した足場を確保してください。
- ※向かい合わせの釘打ちはしないでください。
- 安全メガネや耳栓などの保護具を着用してください。
- 釘打ち時やエアホースを外す際に耳に響くような高い音が発生します。
- 射出口を手や足、他の人や動物に向けしないでください。
- 作業中断、作業終了時は、必ずエアホースを外し、装填した釘を抜いてください。
- ※釘を打てる状態で放置することは絶対にしないでください。
- 本商品は連続打ちすることはできません。絶対に改造しないでください。
- 安全装置が搭載されておりますが、お客様及びお客様の財産を完全にお守りできる装置ではありません。ご使用になられるお客様自身が十分注意し、作業いただく必要があります。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。

釘打ち作業は下記を参照ください。

- ①ご使用前に給油してください。 2ページ『給油方法』参照
  - ②使用空気圧力を0.5MPaに設定してください。
  - ③釘を装填してください。 4ページ『釘の装填方法』参照
  - ④エアホースに接続してください。
  - ⑤不要な木材にて試し打ちを行い、打込み深さを調整してください。 5ページ『打込み深さの調整』参照
  - ⑥釘打ち作業を開始してください。
- ※対象物に射出口を押し当て、引金を引く。この作業を繰り返しながら釘打ちを行います。
- ※連続打ちはできません。



- ⑦作業終了後（作業中断）、エアホースを取り外し、給油を実施してください。
- ⑧エアホースを外し、マガジンケースから装填した釘を抜いてください。
- ⑨ケースに戻し、屋内で保管してください。

**▲ 警 告**

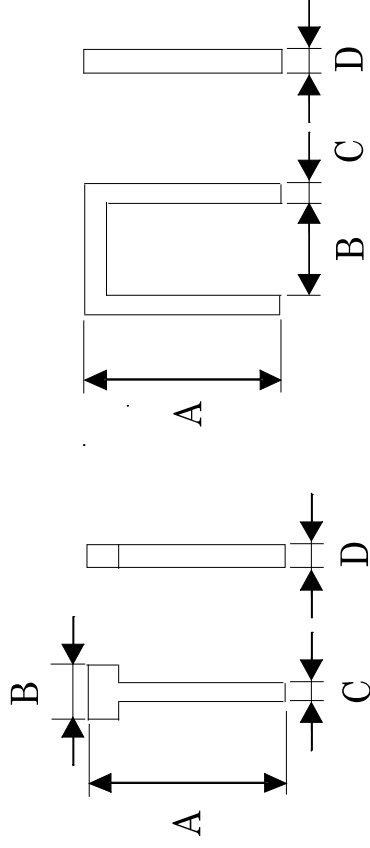
- ご使用前に使用釘の各寸法をご確認ください。
- 不適切な釘は使用できません。釘詰まりや2度打ちの原因となります。これは商品の不良ではございませんので、保証致しません。

使用釘の寸法は、下表の通りです。この寸法にあった釘を別途お買い求めいただき、ご使用ください。

※すべての条件を満たす必要があります。1つでも異なれば使用することができませんので、ご注意ください。

表1 使用釘

	仕上げ釘	ステープル	
A	mm	15~30	13~25
B	mm	0.6~1.9	4
C	mm	0.6~1.05	0.6
D	mm	0.7~1.3	1.2
装填数	本	100	100



仕上げ釘

ステープル

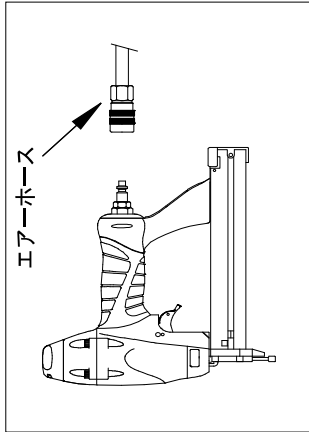
## ■ 釘の装填方法

### ▲ 警告

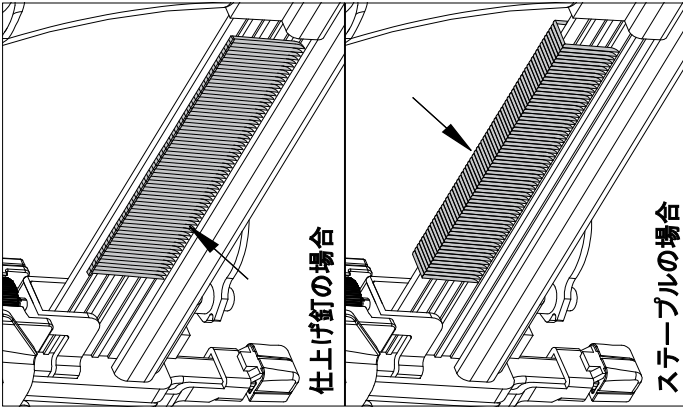
- 釘を装填する際は、必ずエアホースを外してください。誤って釘が射出されると非常に危険です。
- 不適切な釘を装填しないでください。釘が外せなくなり、使用できなくなり、使用できない場合があります。この場合は商品の不良ではございませんので、保証致しません。

釘の装填は、下記を参照してください。  
釘の装填方法は他社製品と異なる場合がありますので、よくご確認ください。

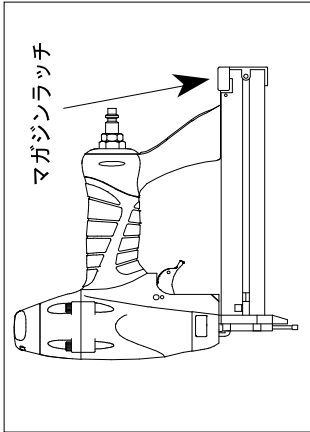
#### ① エアホースを外す



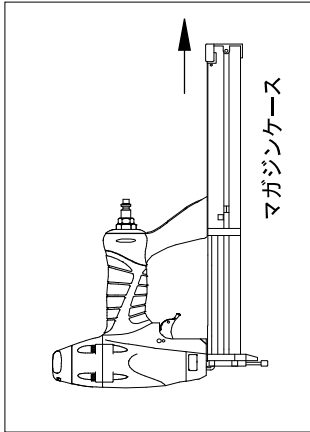
#### ④ マガジンレールに釘を装填する



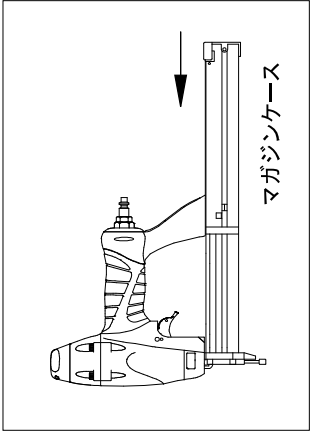
#### ② マガジンラッチを押す



#### ③ マガジンケースを引く



#### ⑤ マガジンケースを戻す (カチッと音がするまで)



## 【打込み深さの調整】

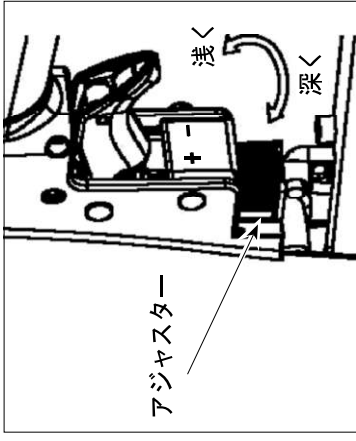
### ▲ 警告

- アジャスター調整時は、エアホースを外してください。
- アジャスターを過剰に回し過ぎると破損します。アジャスターは微調整を行うための装置です。先に使用空気の調整を行う必要があります。

1. エアホースを外してください。
2. 使用空気を0.5MPaに設定してください。
3. 釘を装填し、エアホースを接続してください。
4. 不要な木材に試し打ちを行い、打込み状況を確認してください。
5. 打込み不足の場合は、使用空気を上げる。  
打込み過ぎの場合は、使用空気を下げる。
6. 目標とする打込み深さに近付いた後、アジャスターにて微調整を行ってください (右図参照)。  
深く打ち込む場合：+側 (深く)  
浅く打ち込む場合：-側 (浅く)

※アジャスター調整時はエアホースを外してください。

※アジャスターは引金の下部にあります。



## 【釘詰まりの除去】

### ▲ 警告

- 釘詰まりの除去作業は、エアホースを外し、装填された釘を抜いてください。エアホースが接続された状態で作業は非常に危険です。
- お客様にて除去できない場合は、絶対に無理な作業はしないでください。お客様の怪我や商品の故障の原因となります。釘の除去をご希望の際は、有償にて修理いたしますので、お買い求めいただきました販売店様にご相談ください。

1. エアホースを外してください。
2. 装填された釘を抜いてください。
3. 付属の六角レンチ (3mm) にて、マガジンケースのカバーを固定するねじ (3カ所) を外してください。  
※安全のため、固く固定されています。お客様にて外せない場合は修理をご依頼ください。ねじが破損すると修理が困難となります。
4. 安全装置を外さず、横に少しスライドさせ、マガジンカバーを外し、詰まった釘を除去してください。  
※詰まった釘が除去できない場合は、無理矢理除去すると傷が付く恐れがありますので、修理をご依頼ください。
5. カバーを元の状態に戻し、ねじ (3カ所) で固定してください。
6. 不要な木材に安全装置を押し付け、安全装置が正常に動作することを確認してください。

